

「夏の天体観望 (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

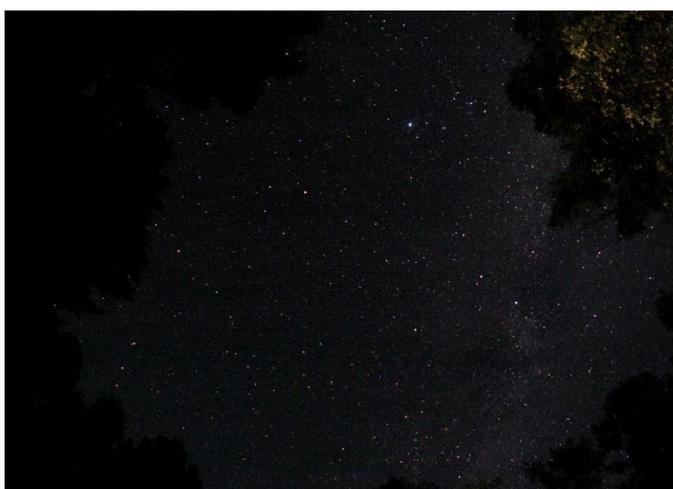
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

金曜日の夕方に東京を出て、3 時間ほどで北軽井沢に着いた。気温は 21℃。あまりにも暑い東京にずっといたので、涼しいというよりも寒いほどだ。涼しさにもほっとするが、もっとすばらしいのは、星空の美しさである。



山荘 (山小屋) に着いて、もし晴れていると、庭からでもすばらしい星空を見ることができる。何時間もかけて運転してきてよかったと思う一瞬だ。

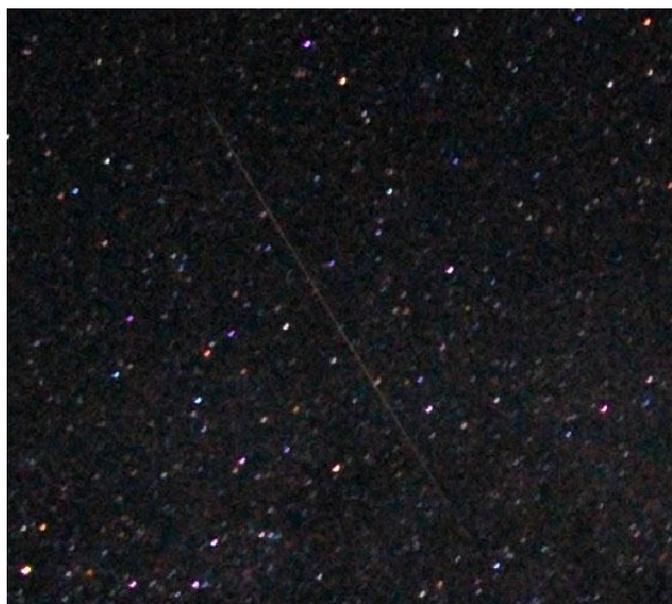


今の時期は、夏の星座がよく見えている。夜 8 時から 10 時頃に、天頂 (真上) を見上げて、まず目に付く輝星はこと座のベガだ。つまり織姫である。面積 286 平方度の小さな星座で、1 等星 (実際は 0 等星) のベガに、4 つの星が平行四辺形にぶら下がっている形になっている。



(2 ページ目に拡大写真)

山荘の庭は、カラマツとシラカバの木々が多いが、その隙間から天の川が見える。庭から普通に天の川が見える家というのが、唯一の自慢である。(あとはすばらしいバーベキュー・グリルがあること) 上の写真は「見た目」にかなり近いと思う。



写真をよく見ると、天の川付近に直線の軌跡が写っている。航行灯の明滅がないので、これは人工衛星である。ISS 以外にも人工衛星が写ることもあるのだ。

